

令和5年度 おさなご園 事業報告

1. 令和5年度の概況

令和5年度は、5月にコロナが第5類感染症に移行し、感染症対応の保育が徐々に緩和していくことができた。しかしながら、様々な感染症は、コロナ以前から保育園にはつきものであったのでコロナで学んだ感染症の対応を行いながら保育活動を継続した。コロナ対応で行事の取り組み内容を検討してきたことを生かし行事も継続することができた。

4月の入園状況は94名でスタートすることができた。0歳児に1名の空きがあったが8月には9名になった。1月に福祉サービス第三者評価を受審し結果については、保育の分野では高い評価を得ることができたが、法人運営の立場から弱点が強くなってしまった。指摘を受けた事項については、改善に取り組んでいるところである。

2. 基本理念

○保育理念

「キリストの愛に基づきよく見、よく考え、行動する」

日々の生活の中でイエス・キリストが身近に感じることができるように関わりをもつ。

○保育目標

- ・ 健康な体力作りを基本として行う
- ・ 早寝、早起き、朝ごはんの奨励
- ・ 読み聞かせの奨励

保育目標に掲げた事項について年齢月齢に合わせ保育カリキュラムにとり入れ確認しながら実践してきた。

3. 重点課題

(1) 保育内容の充実

各年齢に応じた環境づくりと感染症の対策を行い、子どもが遊びこめる室内空間づくりをめざす。年間の中で発達に応じた空間変更、遊具の入れ替え、遊具の充実を図ることができた。

(2) 保護者への支援

4月に懇談会を行い、職員間の交流を行った。年間を通して各クラスが状況に応じて個人面談を行い、職員は交代制で朝夕の園児の受け入れ送り出しを丁寧に行い保護者との交流の時間を大切にした。

(3) 地域の子育て支援事業

中学生の職場体験学習が再開した。

卒園生の中学生・高校生のボランティア受け入れを再開することができた。

保育園見学を受け入れた。子育て支援センター「ベテル」を活用し育児相談など遊び場や母親のくつろげるスペースとして開放できた。

(4) 次世代を担う職員育成

令和5年度新入職員2名は比較的年齢の近い職員同士が組み、育成体制も任せることができた。またキャリアアップ研修は、オンライン開催の研修が増えたことにより受講しやすく2名が受講した。

(5) 運営の組織化

乳児・幼児リーダーを置き体制の調整等補う体制を取った。

主任業務が増加しており今後、副主任を置くことで役割分担を明確化していく。

(6) 緊急災害発生の備え及び危機管理の対応

緊急時の対応や危機管理対策（防災用品等）に関して点検や備品の補充をおこなった。

計画的に備品の補充を行い、毎月の避難訓練は、時間帯を変更しながら実施した。大震災を想定した訓練を行い、保護者が職場から完全徒歩で園児を迎えに来ることを想定しての訓練を行った。

(7) ICT 化の促進

書類等の事務省略化に向け「はいちーズシステム」を導入して 1 年が過ぎた。保護者との連絡方法やメールの一斉配信により、保護者全体に周知できることとペーパーレスに繋がった。パソコン・タブレットの管理や入力時のパスワード管理を徹底していく。

4. 児童定員と児童在籍・入退所状況等

(1) 児童受託状況

- ① 90名定員中4月は94名でスタート。(0歳1人 8月入所)
- ② 就労短時間認定年間2～6名と育児休暇取得合わせて短時間認定は年間延べ124名
- ③ 医療的ケア加配対象児1名

(2) 延長保育事業利用状況

今年度は延長保育担当職員を固定にしたことで流れが統一され安定した対応ができていた。

補助職員は1名で常に2名体制で対応した。

年間利用状況は以下の通り

延長保育利用状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数	40	36	35	42	32	49	40	30	30	22	24	34	431

短時間保育の延長保育利用児はスポットで利用あり。

(3) 子育て支援拠点事業

支援センター「ベテル」年間開所日数 245日

年間来所数 557人(親子267組) 1日あたり平均利用組数1.1人 イベント実施回数 108回

5. 職員配置状況

職員配置 全職員：30名 (令和6年3月31日現在)

常勤職員：12名 園長(1名) 保育士(9名) 調理員(2名)

産休・育休取得者：保育士(0名)

非常勤職員：4名 保育士(有資格者)8H勤務(2名) 7H勤務(2名)

パート職員：14名 保育士(有資格者)6.5H未満(5名) 無資格者6.5H～3H勤務(3名)

看護師(2名) 事務(1名) 給食補助(1名) 雑務(2名)

嘱託医 1名 栄養士 1名

6. 運営報告

- (1) 今年度運営管理を潤滑に行うため以下の会議を計画し状況に応じて対応してきた。職員会議、幼児会議・乳児会議・クラス会議・給食会議・行事会議・等々
- (2) 各種係・委員を設置し職員全員が分担し運営ができた
 - ① 研修委員(法人)：園内研修の企画や、準備を行った。
 - ② 行事係：年間行事を全職員で役割分担を行い、対応した。
 - ③ 環境整備係：室内外の安全点検や園庭チェック・草取り・冷蔵庫チェック等行った。
 - ④ 子育て支援：保育園体験ふれあい保育、支援センターの状況把握。
 - ⑤ 広報委員：(法人) ホームページ更新 毎月担当クラスを決め月 1 回更新した。
 - ⑥ 備蓄委員：備蓄の点検、賞味期限の確認等管理している。
 - ⑦ リスクマネジメント委員：ヒアリハットの集計と分析が毎月行われ、職員会議で報告された。
 - ⑧ 安全衛生委員(メンタルヘルス係)：職員のストレスチェックを働きかけた。
環境整備。美化。
 - ⑨ 働き方検討委員会：法人と状況を共有し話し合いを重ねている。職員交流会の開催。

7. 保育基本方針報告(保育内容に記載)

- (ア) 保育理念を基に、日々適切な保育が行われた。自己評価表で年3回チェックを行い振り返りや気づきにつなげる機会とした。
- (イ) 0歳児は緩やかな担当制をとり、月齢にあった個々の子どもの日課を大切に保育にあたった。
- (ウ) 1.2歳児は、事故防止を特に留意した環境づくりに配慮し、発達や月齢に応じた日課やカリキュラムの工夫を行い、健康な身体と安定した情緒が育つよう取り組んだ。
- (エ) 幼児組は年間計画の中での毎日の活動の確認をしながら、幼児期に必要な体験と成長を保障した取り組みを行うことができた。行事はねらいをもって実施できた。
- (オ) 要支援児の保育は、保護者の理解を得ながら専門機関との併行で保育ができるよう進めた。
- (カ) 地域の子育て支援として気軽に園見学、支援センターの利用を活用できた。

8. 行事等の実施報告 (※年間行事報告を参照)

月	子ども	保護者
4	・入園式(新入園3歳児) ・イースター	・入園式(新入園3歳児保護者) ・各クラス保護者懇談会
5	・年長児遠足	・避難引き取り訓練 ・年長児遠足(お弁当)
6	・交通教室 ・個人面談	・個人面談
7	・ゆりの記念日礼拝 ・プール開き ・年長児夏のおたのしみ会 ・なつまつり	・なつまつり参観
9	・おみせやさんごっこ	
10	・運動会(朝日5丁目第2公園)	・運動会参観
11	・防災教育訓練 不審者防止教室 ・マラソン大会	
12	・クリスマス祝会(南平文化会館)	・クリスマス祝会参観日

		・年長児個人面談
2	・豆まき ・音楽会 ・剣道大会	・個人面談 ・音楽会参観日
3	・ひなまつり茶会(年長) ・お別れ遠足 ・卒園式	・遠足(全クラスお弁当) ・卒園式(5歳児保護者のみ)

9. 食生活・食育についての取り組み

- (1) 安心で安全な食材の調達と衛生管理、手作りメニュー、楽しい食事が実践できた。
- (2) 離乳食対応やアレルギー児対応等、保護者に寄り添いながら相談に応じた。アレルギー食は医師の指示書の下提供した。
- (3) 食育活動は、調理員、栄養士、保育士と相談しながら年間計画を立て野菜栽培、料理保育を実行した。
- (4) 子どもの体調を考慮し必要に応じた給食を提供した。
- (5) 保護者への献立配信、給食のブログ配信を行った。
- (6) 保護者への情報提供として毎月「食育だより」を発行した。
- (7) 給食室、ランチルームの役割分担や職員間の連携を行った。

10. 医療・保健・健康についての取り組み

- (1) 以下の内容を実施した

身体測定月1回、頭位・胸囲測定年2回、内科健診年2回、歯科健診年1回
保健便り発行(月1回)、職員健診(6～9月)、職員検便(食事に関わる職員対象、毎月)

- (2) 職員インフルエンザ予防接種の推奨感染状況

- ・インフルエンザ 31名、新型コロナウイルス19名、ウイルス性胃腸炎17名、プール熱14名、溶連菌感染症11名、水疱瘡
- ・その他の感染症 溶連菌感染症…1名 感染性胃腸炎…24名 RSウイルス…9名

- (3) 感染症対応

- ① 体調管理をおこなった。
- ② 衛生用品について必要備品は在庫管理しながら早めの対応で補充してきた。
- ③ 感染症罹患の報告を受けた場合は速やかに対応し感染拡大予防に努めた。
- ④ 園内のドアノブや手すりの消毒、遊具の消毒。通年手洗いうがいの励行。2方向換気の徹底。

11. 安全対策・防災対策・リスクマネジメント(事故対応やヒヤリハット等の取り組み)

- (1) 安全対策について、川口市交通安全課による交通安全指導実施。
- (2) 防災対策は総合訓練を毎月行なっているが訓練方法を変え訓練を行った。
- (3) 事故対策について、ヒヤリハット・事故報告を共有し学習した。
- (4) 事故報告 事例5件(通院治療)
 - ・3歳児：園庭 三輪車で転倒し上前歯1本欠損。歯科受診。1カ月間やわらかい給食の提供。
 - ・5歳児：室内で転倒し裂創。病院で縫合。
 - ・3歳児：園庭で転倒し額を裂傷。病院でテーピング治療。
 - ・5歳児：公園の滑り台階段で躓き下唇裂傷。病院で縫合。
 - ・4歳児：園庭で転倒し下唇を裂創。病院で縫合。
- (5) 入院等 なし

1 2. 環境整備（建物設備、環境美化についての取り組み）

- (1) 全員出勤日に環境整備を職員が行った。
- (2) 園舎周辺 環境美化について、園内の掃除を行う。園全体の樹木選定等実施。
- (3) 窓が多いが工夫して窓清掃を行った。

1 3. 保護者支援に関する報告

保護者からの相談には迅速に対応した。LINEWORKSを活用し全職員に状況の共有を図った。
地域の公的関係機関に報告や情報共有をする必要がある場合は迅速に対応した。

1 4. 専門職の関わり報告

川口市子育て相談課、児相、保健センター保健師、発達支援センター等と情報を交換した。

1 5. 職員育成・研修等の報告

- (1) 職場内研修について、姿勢ケアの指導を受け、ストレス解消を図った。
- (2) 職場外研修 個人研修
 - ① 川口市が主催するアレルギー研修、調理員担当の研修その他保護者支援等の研修に参加した。
 - ② キャリアアップ研修 2名参加

1 6. 職員の働き方の改善への取り組み報告

- (1) 個々職員の意向を優先した勤務体制を心掛けた。
- (2) 休暇保障について、有休の消化率は、正規職員約 89%、非常勤 53%
全体や部署ごとに休みを調整しあいなるべく希望日に取れるように配慮した。
- (3) 勤務時間定時で終業を心がけた。
- (4) 希望があればメンタルヘルス対策として看護師やカウンセラーとの時間を設ける。
- (5) 職員宿舍借り上げ制度の利用はなかった。

1 7. 権利擁護と苦情解決第三者委員会の取り組み報告

- (1) 不適切保育について考え合う機会を設けた。
- (2) 苦情解決第三者委員会の報告会3月に行った。
- (3) 職員は、年に3回子どもとの関わりを振り返るために自己評価チェックを行った。

1 8. ボランティア・実習生等の受け入れの取り組み状況

- (1) 実習生：東京みらい大学・大宮こども専門学校
- (2) ボランティア：中学生・小学生
- (3) 職場体験：市内中学校3校

1 9. 地域活動（連携）・地域貢献活動等の取り組み報告

小学校連携事業交流会に参加。地域の清掃活動に参加。中学校の体験学習の受け入れ。
子育て支援拠点事業の周知とイベントや講座へのお誘い。幼小中連絡協議会への参加。

20. 広報活動（園だよりやホームページの取り組み）

- (1) 園だより・保健だより・食育だよりを毎月発行。
- (2) ホームページは担当者を決め、更新をめざした。

21. 福祉サービス第三者評価の受審と結果報告

株式会社 ブルーラインに依頼。利用者アンケート結果

回答者数 74世帯中56世帯（回答率76%）

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
総合満足度	50%	36%	7%	5%	2%

22. 中長期計画の取り組み状況

(1) 中長期計画の（5か年計画）具体化

① 保育環境の整備（ICT化含む）、保育内容の資質向上に向けた取り組み

ICT化の機能を検討しながら取り入れられることは取り入れてきた。

② 防犯、防災の点検と見直し・実施訓練

職員の防犯訓練、救命救急訓練を実施することができた。正規職員だけでなく非常勤職員の訓練実施も参加した。職員組織の構築と労働環境の見直し残業0を心がけ職員間で協力体制を整え、気持ちよく環境が整えられた。

③ 地域貢献、新規事業に向けて模索

子育て支援センター「ベテル」を活用し、地域の育休中の親子や待機児童親子の遊び場を提供できた。保育所体験、子育て相談の窓口として、また地域の施設案内など地域との連携を図った。

(2) 計画の推進・進行管理

運営委員会において運営状況の理解を深め、計画の振り返り、進捗状況を確認した。

(3) 財務面の見直し

園児数は、年間通して安定した園児数だった。大きな修繕や大きな備品の出費がなかったことで今年度は予算内で収まったが、今後も人件費の圧迫が考えられる。